

2 水俣病患者について

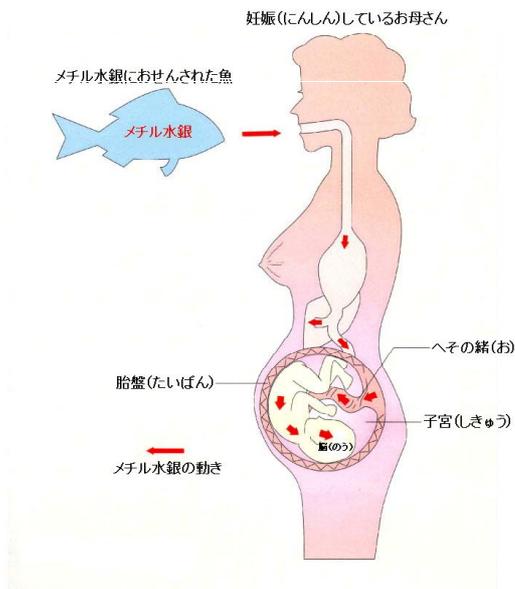
水俣病患者は何人いるのですか？

水俣病と認められた水俣病患者は、2,265人で、そのうち約7割の人が亡くなっています。水俣病とは認められなくても、水俣病による被害を受けた人とあわせて、被害者は1万5千人以上いると考えられています。

水俣病患者はいつ頃、どこで、最初に見つかったのですか？(第一号患者)

1953年(昭和28)12月、水俣市出月で、当時4才の女の子が発病しました。この子が第一号患者と言われていますが、それ以前にもチッソ工場が海を汚染していたので、水俣病の患者はいたとされています。

胎児性水俣病患者はいつ頃発見されたのですか？



それまでは、メチル水銀を取り込んだ魚を食べた人が水俣病になると言われていて、魚を食べていない赤ちゃんは水俣病にならないとされてきました。

しかし、1962年(昭和37)に亡くなった患者を解剖して調べたところ、脳の細胞などが水銀によって破壊されていました。そこで水銀はお母さんのお腹の中の胎盤をも通ってしまうことが初めてわかりました。

胎児性水俣病の症状は…

- ・首がすわらない
- ・ふらついてうまく歩けない
- ・けいれん
- ・よだれを流す



胎児性水俣病患者として生まれた人は何人いるのですか？

1962年(昭和37)に胎児性水俣病患者が始めて発見されたときに、16人が認められました。それからは胎児性かどうかは区別して認定していないので、はっきりとした人数はわかりません。